

残る  
消えゆく



加茂野変電所北側（昭和 36～37 年ごろ）

# 地名のはなし

+

## 「境松」のはなし

太田から西町を通る坂道と関街道が交わる辺りの字名は「境松」といいます。ここは太田と加茂野の境目で、かつてこの周辺一帯に松林が広がっていたことから「境松」と呼ばれるようになったといわれています。

地域の人は、「松林があったころは見通しは良かったが、夜は特に暗い道だった」「今は工場や家が建ち並んでにぎやかだが、昔は町外れのもの寂しい所だったよ」と当時の様子を話してくれました。